

2026 年度 日本医療検査科学会 第一回生理検査委員会

日時:2026 年 5 月 9 日(土曜日) 15 時 20 分～16 時 20 分 ハイブリッド開催

参加者: 堀田(担当理事)、代田(委員長)、朝日、横山、田邊、眞崎、小笠原、油野、(以下オブザーバー) 古川、東條、黒沢; 現地参加は堀田、東條、代田

欠席: 大門、持田 (敬称略、順不同)

報告事項

1. 前回議事録の確認 資料 1
2. 新任委員: 金沢大学 油野 岳夫 先生 資料 2
3. 外部精度管理事業の予算申請
 - 2 月の理事会に向け活動費申請を行った 資料 3, 4
 - 理事会での質問事項に対して堀田担当理事へ回答した 資料 5
 - 堀田担当理事より 3 月 3 日に学会事務局宛で、審議についてお伺いいただいた
 - 3 月 12 日時点ではメール審議の可能性もあったが、おそらく本日(5 月 9 日)の理事会で審議いただいているものと思われる。委員会からは、所定施設数での実施には一定の時間がかかることを 3 月時点で説明済み。
 - 本日堀田理事より、今回の予算申請は理事会で承認が得られたことが報告された。関連する議論については「審議事項」参照
4. 総説:「医療検査と自動化 Vol 51. 1」に総説を寄稿しました

審議事項

1. 委員会活動方針について
 - 1) 委員会アンケートについて
 - ① 今後のアンケート形態検討
 1. オンライン実施に適した実施形態、項目数の検討が必要
 2. Google Form 以外にもプラットフォームはあるが、学会全体との整合性も
 - 2) 分野別の活動予定について
各分野、これまでの活動内容を軸に継続する。
 - ① 外部精度管理代替えアプローチ事業について
 1. 脳波検査でも心電図同様のアプローチを予定
 2. 報告事項 3. の予算申請に関連して、以下の討議が行われた
 - これまで生理検査の外部精度管理についてはほとんどがフォトサーベイのみであったところ、機器の精度管理を追加するという取り組みについては理事会等でも高く評価頂いているとのフィードバックが堀田理事よりあった。
 - 一方、今後の展望を示してほしいとの要請があることが示された。具体的な論点として、① 本学会他分野での外部精度管理事業では参加施設から費用を徴収する形で運営されているがそのような見通しはあるか、② 本学会の特徴として、検査の精度を高めるためにベンダーとの協業が行われている。JaCLAS への入会や今回の外部精度管理事業における(機器運搬などの)サポートについてどう考えているか、等。
 - 上記に対する回答は以下の通り。心電図分野: 来年度以降はシミュレータの校正費用が発生する 今年できるだけ施設数を増やして、しっかりとしたデータを取りたい(古川オブザーバー)。呼吸機能分野: ようやく多施設での運用を始めたばかりであり、今年の成果を踏まえて計

画を立てたい(東條オブザーバー)。超音波分野:超音波検査学会をはじめとする超音波関係の学会では、各領域における精度管理事業がある程度行われている学会もある。内容が重複すると無駄が多いため、すり合わせが必要(黒沢オブザーバー)。神経生理分野:データのタイプとしては心電図分野と類似しているため、これを参考にして進めており、少数施設でのパイロット事業を計画している(代田)。またベンダー参加については、ISO 15189 における外部精度管理としての位置づけが認識されるなどベンダー側のメリットをどこに置くかが重要であるとの議論がなされた。

- 堀田担当理事より質問があり、古川オブザーバー・東條オブザーバーより回答された。① 各施設でもシミュレータを保持している可能性があるが、異同について:管理機器の機器間差については、波高で±1%、というのがベンダーの主張、一方で各施設が保持しているシミュレータがきちんと校正されているかどうかは確実ではない(古川オブザーバー)。呼吸機能検査のシリンジについては、各施設で保持しているものとは異なり容量を明らかにしていない点の特徴(東條オブザーバー)。② シミュレータの校正間隔について:現在心電図分野で使っているものは年に一回であるが、ベンダーによって異なる可能性はある(古川オブザーバー)。
- 今回の外部精度管理事業について参加証をできれば学会(理事長)名義で発行したいとの発案が古川オブザーバーよりなされ、委員会後に堀田担当理事よりひな形が提供された。

② ほか

3) 今後の活動内容

① 2026 年度第二回生理検査委員会

1. 第 58 回大会中: 2026 年 10 月 9 日(金)14:20-14:50 神戸市

② 日本医療検査科学会第 58 回大会: 2026 年 10 月 8 日(木)~10 日(土)

1. 技術セミナー 10 月 10 日(土) 10:10-11:40

例年通り、四分野各々から精度管理に関するご発表をいただく
(今年は、総論なし、20 分 x4 + 総合討論 10 分)

抄録締め切り 5 月 14 日 別途詳細をメールで連絡

2. シンポジウム 10 月 9 日(金) 15:00-16:50

「生理検査の精度管理とデータ活用」

座長: 東條、代田

演者: 古川、川口(NHO 相模原病院)、油野、加藤(東大病院)、代田
(敬称略)

③ 新規委員の募集・推薦

現状はむしろ医師・技師の委員を増やすことが肝要かもしれないが、審議事項にもある通り、引き続きベンダー参加の道も模索する。

黒沢オブザーバーより、前橋赤十字病院臨床検査技師の有馬ひとみ氏(超音波分野)を委員に推薦する旨ご提案があり、全会一致で承認された。

2. その他

- 学会規定により代田の委員長任期が 2027 年 3 月末であり、後任の選定が必要であることが共有された。